

経済産業部

コンテンツは、人間の創造的活動により生み出され、消費者に様々な教養や娯楽を提供するとともに、消費者の豊かな生活の実現に寄与しています。

また、我が国の将来を見据えた知的財産戦略においても、ものづくりに加え、技術・デザイン、ブランドや音楽、映画等の無形資産であるコンテンツを経済活動の基盤に据えることにより、我が国経済・社会の新たな発展を図ることとしております。

沖縄は独自の歴史により育まれた特有の音楽・文化や美しいサンゴ礁、さとうきび畑や赤瓦屋根の残る集落といった自然・景観を題材とした映画、テレビ番組が全国的に注目されるなど、コンテンツにおける素材の宝庫となっており、コンテンツを活用したコンテンツ産業に大きな経済効果が期待されています。



熱心に聞き入る聴衆



パネルディスカッション

このようなか、経済産業部では、平成18年9月1日付けでコンテンツ産業支援室を設置し、沖縄におけるコンテンツ産業の振興体制を

Point

経済産業部では、コンテンツ素材の宝庫であり、コンテンツ産業による大きな経済効果が期待される沖縄コンテンツ産業の支援活動を展開しています。

地場「映画・音楽コンテンツ」産業の振興に向けて

「美ら沖縄コンテンツ産業支援シンポジウム」の開催

強化しました。

平成18年度においては、沖縄コンテンツ産業の発展支援策を検討する「美ら沖縄コンテンツ産業の支援策調査事業」を実施するとともに、その成果の発表及び今後の沖縄コンテンツ産業の育成を支援するため、平成19年3月6日（火）に那覇市の桜坂劇場において、美ら沖縄コンテンツ産業支援シンポジウム「沖縄の音楽・映像産業の発展に向けて」を自らの手でコンテンツ産業の発展を」を開催しました。

当日は、りんけんバンドのリーダーであり、(株)アジア代表取締役社長としても活躍されている照屋林賢氏による「沖縄発音楽・映像産業の新たな展開」と題しての基調講演の後、「橋大学イノベーション研究センター教授の武石彰氏がコーディネーターとなり、照屋林賢氏、(株)クランクのプログラムディレクタ

ー真喜屋力氏、(株)に・よん・な・みゆーじく代表取締役の丸山茂雄氏、(株)MPDのソフト営業グループリーダー三木孝浩氏をパネラーに迎え、沖縄の音楽・映像産業の発展に向けて、パネルディスカッションを行いました。

また、アトラクションとしてりんけんバンドの上原知子氏がプロデュースする二人組の音楽ユニット「御花組（みはなぐみ）」のスペシャルライブを行い、シンポジウムに（文字通り）花を添えました。

今後は映画・音楽以外のコンテンツ（アニメーション等）についても適宜サポートし、沖縄における人材の育成、情報の発信等コンテンツ産業の基盤強化に更に取り組んでいきます。

コンテンツ様々なメディア上で流通する映像、音楽、ゲーム、図書など、動画、静止画、音声、文字、プログラムなどの表現要素によって構成される情報の内容



御花組のスペシャルライブ